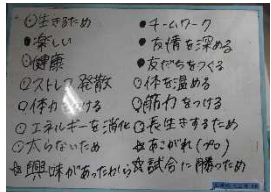
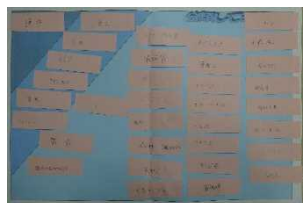






平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

| | |
|---------------|--|
| 1 実践テーマ | 【 I・III・V 】 |
| 2 実施対象者 | 学校名 : 千葉市立蘇我中学校 対象学年 : 第3学年 クラス(人数): 1組~10組女子(154人) |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名(体育科・ <u>保健体育科</u>) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他() |
| 4 目標 (ねらい) | モデル校での実践等を通して、体育・保健体育の学習を充実させ、子供たちが、よりスポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質を育むこと、健康の保持増進のための実戦力の育成と体力の向上を図ることを目的とする。 |
| 5 取組内容 | 体育理論(全3時間) <u>現代社会におけるスポーツの文化的意義(1/3)</u> ・自分にとってスポーツとは何かを考え、書き出す。 ・スポーツにはどのようなものがあるか発表で挙げ、目的によって「競技スポーツ」「レクリエーション」「体づくり・健康づくり」「野外活動」などがあることを知る。 ・スポーツの良さや魅力について考え、ホワイトボードでグループ発表する。 ・スポーツ憲章、スポーツ基本法について学ぶ。  <u>国際的なスポーツ大会とその役割(2/3)</u> ・リオパラリンピックダイジェストの映像を見て、パラリンピッククイズを考える。 ・国際大会の役割、オリンピック、パラリンピックの理念を学ぶ。 ・どんな人たちがオリンピック・パラリンピックに関わっているかをできる限り多く付箋に書き出し、グループで共有する。 <u>人々を結びつけるスポーツ(3/3)</u> ・前時で学習した人々や職業を3つに分類すると、どのような分け方になるかを考えて発表する。 ・「する」「見る」「支える」に分類し、気が付いたことを書く。 ・2020東京大会に自分がどのように関わったり支えたりすることができるかを考え、ホワイトボードを活用して発表する。  |

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>6 主な成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、授業実践前はスポーツやオリンピックというとアスリートや選手が関係するものであるというイメージが強かった。授業後の感想から、支えるという関わりもあることに気が付き、スポーツに対する価値観が広がった。 ・パラリンピックについて学ぶことで、多様性や共生社会の意識を少しでも身につけることができた。 ・千葉市でも開催される東京2020オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が向上した。 |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <p>オリンピック・パラリンピックをテーマとしたブックトーク 授業実践の前に、図書委員会や図書館指導員がブックトーク(本の紹介)を行った。ブックトークは図書委員会の活動として年に2回朝読書の時間に行っている。今年もオリンピック・パラリンピックをテーマとして発表した。オリンピックについて自分で調べたり、様々な視点の話を聞いたりすることで、オリパラがより身近に感じられた。</p>  <p>オリンピック・パラリンピックについてのDVD学習 2日間に分け、全校一斉で朝読書の時間にオリンピック・パラリンピックの学習DVDを見た。映像で知識を身につけてから授業に入ることで、話し合いで様々な角度から意見が出てきた。</p> <p>シットイングバレーボールの授業実践 大学の先生を講師として招聘し、3年男子でシットイングバレーボールの授業を行った。まず特性に触れ、準備運動、練習、そしてゲームまで体験した。3年女子は体育理論の授業後、バレーボールの最後の2時間でシットイングバレーを行った。理論を学習したあとに実践することで、興味・関心がより高まり、パラスポーツが身近に感じられるようになった。</p>  <p>オリ・パラ関係の掲示物 日々の学校生活の中で生徒の目に触れやすい廊下や階段の踊り場に、オリパラのシンボルマークや千葉開催の種目の紹介等を作成し、掲示した。また美術部が作成したイラストを貼り、多くの生徒に関わりを持たせ、意識づけとなった。さらに1階廊下の幟旗や廊下の掲示物は、来校された保護者、地域の方々にも触れていただく機会となった。</p>   |
| <p>8主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1時間目の授業の内容が多く、時間内に収まらなかった。時間の配分をもう少し短縮したり、内容を精選して流れに工夫を加え、時間配分を考える必要があると感じた。 ・総合での扱いや他教科と連携することで興味・関心がさらに深まるだろうと考える。そのためにも、全職員がオリパラについて研修して協力体制を整え、計画的、継続的な取り組みが必要である。 |
| <p>9来年度以降の実施予定</p> | <p>体育理論は第3学年で継続的に実施していけたらと考えている。</p> |